

人 チーム 制度



業務の効率化による就業環境の改善  
 (株) オリエンタルコンサルタンツ  
 河川砂防・港湾部

(株) オリエンタルコンサルタンツでは、働き方改革として、全社的に就業環境の改善に取り組んでいます。中でも、今回は、関西支社の河川砂防・港湾部について紹介致します。

河川砂防・港湾部の特徴

河川砂防・港湾部は、「計画チーム」、「水工チーム」、「砂防チーム」、「港湾チーム」に分類されています。近年、多くの新入社員を受け入れており、ほかの部署に比べて若手技術者が多いことが特徴です。若手技術者が多いため活気に溢れているとともに、上司と部下の風通しが良く、若手技術者が主体的に業務に取り組んでいます。

具体的な取り組み

関西支社 河川砂防・港湾部では、就業環境の改善を図るため、「朝メール”日タスケ”」と「タスクの平準化」に力を入れています。

【朝メール”日タスケ”】

毎朝、当日の作業内容や退社予定時間、前日の振り返り、一言を部に配信することで、一日の作業内容や業務の進捗状況等を部のメンバーと共有する。

【タスクの平準化】

週一回、チーム会議を行い各業務の状況を確認し、チームで共有化を図ることで、早期段階で部やチーム単位でタスクの平準化を図る。

部の紹介

メンバー：部長、社員 29 名  
 年齢構成：20代 13名、30代 5名  
 40代 7名、  
 50代以上 4名  
 男女比：23：6  
 主な業務：河川計画、河川構造物設計、砂防施設設計、港湾施設設計など

社内の様子 (計画・水工・港湾チーム)



社内の様子 (砂防チーム)



取り組み	目的	具体的な内容
朝メール”日タスケ”	・業務で困っていることを早期段階で共有・解決する。 ・上司、部下のコミュニケーションツールとして活用。	毎朝、部のメンバーに以下の内容を配信。 ・当日の作業内容と作業時間 ・前日の振り返り ・仕事の内容に関わらず、最近の出来事や感じていることを自由に一言としてつぶやく
タスクの平準化	・個人にタスクが集中し、残業の長時間化を軽減する。	・週一回のチーム会議で、各業務の進捗状況等を共有し、平準化を図る。 ・早期段階で平準化を図るため、無理のない作業分担を行う。

取り組みの成果  
 朝メール”日タスケ”

実際に始めるまでは、「意味があるのか」、「手間がかかる」等の意見もありましたが、定着すると早期に問題を共有できるため、手戻り作業が減り効率的に作業を行うことができていると思います。また、【一言】では、「季節の変化」や「美味しかったお店の話」、「休日の過ごし方」等、仕事以外の内容も記載できることとしたことで、コミュニケーションツールとして効果的だと感じます。これにより、上司と部下との距離感が近くなり業務実施にあたって、朝メールの例思っていることを言いやすくなったと感じている若手社員も多いです。

タスクの平準化

タスクの平準化では、業務の進捗状況や作業内容をチーム単位で把握することで、適切な人員配置を図り、一人に業務が集中することによる過度な残業が減少しました。また、残業時間のモニタリングを行うことで、業務進捗状況の見える化につながり、より効果的に平準化が図れた。これらによって、夜遅くまで残業する社員が減少した。

限られた時間の中で成果を出すことに気をつけていることやコツは？

朝メールにおける【一言】では、仕事以外の内容を配信するため、ポジティブな内容が多く、繁忙期等の作業が逼迫する時期でも前向きに、明るく業務に取り組むことができ、作業の効率化につながっています。また、日頃から、チームメンバーと業務の現状や今後の予定等を共有するように心がけています。これにより、突発的な作業が発生した際にチーム単位で迅速な対応をとることができています。

最後に

限られた時間の中で成果を出すことで業務が効率化され、就業環境の改善が図られています。今後は、各人のワーク・ライフ・バランスに合った働き方をするため、更なる就業環境の改善を目指していきたい。

**■本日のスケジュール**

9時～ 【〇〇業務】資料作成  
 13時～ 【〇〇業務】打合せ(外出)  
           【〇〇業務】資料作成  
 退社予定時間：19時

**■振り返り**

20:00(予定)⇒19:15(実績)  
 検尺が予想よりも早く終わったため。

**■一言**

劇団四季のCD聴きながら歩いてたら歌ってスキップし出しそうになります。  
 次は、ノートルダムノ鐘を見に行きます。  
 その次はそろそろアラジンかな。

朝メールの例